

農地・水・環境保全向上対策

活動組織 紹介

市木地区田んぼを守ろう会・神木の里 (南牟婁郡御浜町)

私たち、市木地区田んぼを守ろう会(田んぼ会)と神木の里は、御浜町内のほ場整備された市木川沿岸土地改良区の水田と御浜土地改良区の畑、また東地地区の田畑を対象にそれぞれ組織をつくり、田んぼ会は平成19年度から、神木の里は平成21年度から活動に取り組んでいます。

対象農用地面積

- *田んぼ会 地目・田 3,000 a
(市木川沿岸土地改良区地域)
- *神木の里 地目・田、畑 2,281 a
(市木川沿岸土地改良区・御浜土地改良区・東地地区の地域)



道普請農道の草刈り(市木地区田んぼを守ろう会)



神木育成会の小学生による芋の苗植え(神木の里)

以前から行っていた農繁期前の各田人による水路の泥上げ、配水操作、および地域の道普請を基に水路・農道の補修を行っていましたが、事業開始後田んぼ会では年1回の道

普請時に地域住民と協力し農道の草刈りを行っており、神木の里では神木育成会の小学生と交流し、非農家の農地を守っていこうという意識が高まり、耕作放棄地の解消を行う活動を計画しております。

平成22年10月31日(日)に御浜町が主催で開催された「みかん祭り」に参画しました。

ブース内では活動内容を紹介した景観作物のPR、そしてさらなる景観形成の向上を図るためにアンケートを実施し、回答者には活動対象地区で収穫されたお米・みかんを景品としくじ引きを行い、大勢の人で賑わい盛況でした。

アンケートの結果、来場者101名から回収し、うち70名が景観作物について「知っている」と回答を得て、たまたま通りがかりに景観作物を見つけた人がほとんどでした。

本年度、田んぼ会ではコスモス4,965m²、れんげ547m²、神木の里ではコスモス2,178m²、れんげ1,026m²の田にそれぞれ種を撒き、「みかん祭り」に合わせたかのように神木のコスモスが満開となり、散策する人の目を楽しませていました。



満開のコスモス畑(神木の里)



みかん祭り ブース

活動組織 研修会

菰野町水土里の郷の会 研修会 開催



説明を聞く参加者

去る10月20日(水)に農地・水・環境保全向上対策に取り組む「菰野町水土里の郷の会」が菰野町大字菰野字大槌の現地において水路補修の技術研修会を開催し、農地・水・環境保全向上対策に取り組む関係者ら29

名が参加した。

本研修会は平成22年度の年間計画の一環として実施されたもので、事務局より関係者の皆さんが自分たちで水路の補修を簡単にいかにスムーズに作業が行えるかをこの研修会で学び、各地区で生かしていただきたい旨の挨拶の後、水土里ネットみえの庄村課長補佐が講師の紹介を行い、研修会に入った。

総括コーディネーターの水土里ネットみえの岡課長補佐の進行により、まず、(株)エフイーエスの伏見代表と原商事の原代表が水路目地の補修方法について参加者に配布されたテキストで説明した後、現地のU字溝でテキストに紹介されていた防水材料を用い、実際に補修を行った。



目地補修の現地研修

次に、高橋土建(株)の岡主任よりコンクリートやモルタルのひび割れ補修・補強および止水対策として多用されている自動式低圧樹脂注入工法の一つであるIPHシステム(内圧充填接合補修工法)の紹介があった。この工法は、注入器によりコンクリート内部から高流動の樹脂を低圧で注入することで植物の葉脈すべてに水分や養分が行き渡るようなイメージな高精度な充填が可能で効果が得られるとのことであった。説明の後、実際に水路の枠の漏水部分に樹脂を注入し、効果を見ることとした。

講師全員の説明の後、参加者自ら目地補修を行ったり、補修箇所を手でなぞり接着状況を確認したり、活発な質疑応答もなされ参加者全員が熱心に研修され、大変有意義な研修会であった。



IPHシステム
(内圧充填接合補修工法)